



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL <https://www.rakus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,736	34.4	677	△23.7	697	△22.4	423	△28.0
2022年3月期第2四半期	9,473	33.9	888	△47.9	898	△47.6	587	△54.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 449百万円 (△23.9%) 2022年3月期第2四半期 590百万円 (△54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	2.33	—
2022年3月期第2四半期	3.24	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,649	8,722	69.0
2022年3月期	11,700	8,617	73.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,722百万円 2022年3月期 8,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.90	1.90
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	1.95	1.95

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,302	32.3	1,424	△9.8	1,447	△9.3	934	△13.4	5.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	181,216,000株	2022年3月期	181,216,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,610株	2022年3月期	1,494株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	181,214,429株	2022年3月期2Q	181,214,509株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年11月14日にアナリスト向けWeb会議を開催する予定です。このWeb会議で配布する説明資料については、TDnetで決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による働き方の見直しや、人手不足による業務効率化の推進に伴い、企業業務のデジタル化への移行に関心が高まっております。

このような経営環境の中、当社グループは、2021年3月期を基準として、2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR（年平均成長率）26%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標に取り組んでおります。この中で、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、当初4年間は半期ごとに施策や予算を策定することで、外部環境への対応や施策の効果検証を迅速に行いながら、成長投資の強化に取り組むことを計画しております。

当第2四半期連結累計期間において、クラウド事業は主力サービスを中心に高い成長率を継続し、ARR（年間経常収益）も初めて200億円を超えるなど好調に推移いたしました。IT人材事業については、旺盛な顧客ニーズが継続し、エンジニアのアサインが順調に推移いたしました。費用面では、採用計画が一部未達であったものの、広告宣伝費を積極的に投下し、方針通り成長投資を継続いたしました。

なお、非連結子会社において、想定していた業績計画から実績が乖離したため関係会社株式の減損処理を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,736百万円（前年同期比34.4%増）、営業利益677百万円（前年同期比23.7%減）、経常利益697百万円（前年同期比22.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は423百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、「楽楽精算」を中心に新規受注が好調に推移し、ストック売上高も順調に積みあがった結果、売上高は10,349百万円（前年同期比34.9%増）となりました。利益面では、中期経営目標の方針通り積極的な成長投資を継続したことから、セグメント利益は436百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は、旺盛な顧客ニーズを背景に、積極的な採用を継続しつつ、稼働エンジニア数が順調に増加した結果、売上高は2,387百万円（前年同期比32.4%増）、セグメント利益は240百万円（前年同期比84.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は9,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ811百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が433百万円、売掛金が350百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。主な要因は、のれんが81百万円減少したものの、繰延税金資産が133百万円、工具、器具及び備品が57百万円、差入保証金が45百万円、建物及び構築物が32百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ948百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ803百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が324百万円、未払費用が225百万円、未払消費税等が125百万円、未払金が58百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は145百万円となり、前連結会計年度末に比べて39百万円増加いたしました。これは主に、長期未払費用が41百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ843百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により344百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により423百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ433百万円増加し、5,295百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1,450百万円増加し、1,136百万円の収入となりました。減少の主な内訳は、売上債権の増加額294百万円、法人税の支払額118百万円であり、増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益676百万円、未払費用の増加額266百万円、減価償却費202百万円であり、法人税等の還付額132百万円、未払消費税等の増加額124百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ53百万円増加し、372百万円の支出となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入53百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出286百万円、差入保証金の差入による支出139百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ29百万円減少し、346百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額344百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2021年3月期を基準として2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR26%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標を掲げております。この中で、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、当初4年間は半期ごとに施策や予算を策定することで、外部環境への対応や施策の効果検証をしつつ、最速での成長を目指して投資の強化に取り組むことを計画しております。最終年度においては、投資の効率化に取り組むことで、利益目標の達成を実現する方針です。

なお、本中期経営目標期間において、2023年3月期が営業利益額で底になる見通しであり、2024年3月期以降は最終年度に向けて増益になる見込みです。

引き続き旺盛なデジタル化ニーズを捉え、高成長を実現するために積極的な投資を継続することを計画しており、2023年3月期は、売上高27,302百万円（前年同期比32.3%増）、営業利益1,424百万円（前年同期比9.8%減）、経常利益1,447百万円（前年同期比9.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益934百万円（前年同期比13.4%減）を計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,861	5,295
売掛金	3,104	3,454
未収還付法人税等	131	—
その他	333	489
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	8,419	9,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	175	208
工具、器具及び備品（純額）	710	768
建設仮勘定	—	20
有形固定資産合計	886	997
無形固定資産		
のれん	627	545
顧客関連資産	61	24
ソフトウェア	34	29
無形固定資産合計	723	599
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
関係会社株式	52	27
関係会社長期貸付金	36	34
差入保証金	888	934
繰延税金資産	685	818
その他	12	13
貸倒引当金	△4	△7
投資その他の資産合計	1,671	1,821
固定資産合計	3,281	3,418
資産合計	11,700	12,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1	1
1年内返済予定の長期借入金	4	4
未払金	1,285	1,343
未払費用	754	980
未払法人税等	116	441
未払消費税等	198	324
契約負債	549	605
その他	67	80
流動負債合計	2,977	3,781
固定負債		
長期借入金	36	34
長期未払費用	69	111
固定負債合計	106	145
負債合計	3,083	3,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	378	378
資本剰余金	308	308
利益剰余金	7,918	7,997
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,604	8,682
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	2	12
為替換算調整勘定	10	27
その他の包括利益累計額合計	13	39
純資産合計	8,617	8,722
負債純資産合計	11,700	12,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,473	12,736
売上原価	3,022	4,060
売上総利益	6,450	8,676
販売費及び一般管理費	5,562	7,998
営業利益	888	677
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	15
受取補償金	0	0
助成金収入	7	1
受取保険金	2	—
その他	1	2
営業外収益合計	11	19
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	898	697
特別利益		
受取和解金	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	—	25
特別損失合計	0	25
税金等調整前四半期純利益	898	676
法人税、住民税及び事業税	371	391
法人税等調整額	△60	△137
法人税等合計	310	253
四半期純利益	587	423
親会社株主に帰属する四半期純利益	587	423

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	587	423
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	9
為替換算調整勘定	2	16
その他の包括利益合計	2	26
四半期包括利益	590	449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590	449

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	898	676
減価償却費	182	202
のれん償却額	81	81
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
受取利息	△0	△0
支払利息	—	0
為替差損益 (△は益)	0	△2
受取和解金	—	△5
関係会社株式評価損	—	25
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△225	△294
棚卸資産の増減額 (△は増加)	0	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△0	0
未払金の増減額 (△は減少)	272	77
未払費用の増減額 (△は減少)	127	266
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△477	124
その他	△65	△36
小計	792	1,116
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	—	△0
受取和解金の受取額	—	5
法人税等の支払額	△1,106	△118
法人税等の還付額	—	132
営業活動によるキャッシュ・フロー	△314	1,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△302	△286
無形固定資産の取得による支出	△5	△2
差入保証金の差入による支出	△24	△139
差入保証金の回収による収入	6	53
貸付金の回収による収入	—	2
関係会社株式の取得による支出	△100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△2
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△316	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316	△346
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,054	433
現金及び現金同等物の期首残高	6,035	4,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,980	5,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,671	1,802	9,473	-	9,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	28	28	△28	-
計	7,671	1,831	9,502	△28	9,473
セグメント利益	758	130	888	△0	888

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,349	2,387	12,736	-	12,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	20	20	△20	-
計	10,349	2,407	12,756	△20	12,736
セグメント利益	436	240	677	0	677

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。